

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15034

市営住宅ストック総合活用計画推進事業（市営住宅の建替

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	1	居住環境の整備
取組方針	1	良好な居住環境の確保

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務
	その他		
会計・ 予算区分	会計		
	款		
	項		
	目		
	大事業 中事業		

事業種別	継続	関連個別計画	
事業年度	～	担当課・担当課長・Tel	住宅第1課 神下 直浩 073-435-1098
事業実施の根拠法令		関連課	

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
	<ul style="list-style-type: none"> 市営岡崎団地の老朽化に伴う建替事業 経年による外壁・屋上の劣化・ひび割れ、コンクリート破片の落下等により入居者等への危険が懸念されるため、外壁改修及び塗替え、屋上の防水工事による景観改善事業 		<ul style="list-style-type: none"> 建替事業 景観改善事業 		
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
	岡崎団地新1号棟実施設計 岡崎団地旧中層7. 8号棟解体撤去工事 住替交渉	岡崎団地建設工事（新1号棟） 加太城ヶ崎団地景観改善設計委託 湊御殿第2団地景観改善設計委託	岡崎団地建設工事（新1号棟） 加太城ヶ崎団地1.2号棟景観改善工事 湊御殿第2団地景観改善工事	岡崎団地建設工事（新1号棟完成・新2号棟実施設計） 岡崎団地旧中層5、6、9、10号棟解体撤去工事 加太城ヶ崎団地3号棟景観改善工事	岡崎団地建設工事（新2号棟実施）

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	192,893	115,676	336,199	75,146	932,100	719,658	1,114,630	0	0	0
伸び率（%）	0%	0%	74.3%	△35%	177.2%	857.7%	19.6%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	38,469	37,833	37,966	31,665	31,729	38,762	35,645	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	38,469	37,833	37,966	31,665	31,729	38,762	35,645	0	0
国庫支出金	81,058	34,233	104,435	35,083	324,690	145,756	465,660	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	77,000	32,700	215,400	27,500	592,600	373,400	625,008	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	34,835	48,743	16,364	12,563	14,810	200,502	23,962	0	0	0
所要人数 （人）	正規職員	4.84	4.76	4.76	3.97	3.97	4.85	4.46	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	住宅修繕工事請負費 917,300円 工事監理委託料 14,340円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
老朽化した住宅の改善団地数	団地	目標値		0	0	2	1	
		実績値		0	0	2		
		達成度(%)		0%	0%	100%	%	%
老朽化した住宅の改善率	%	目標値		0	0	100		
		実績値		0	0	100		
		達成度(%)		0%	0%	100%	%	%
成果指標		目標値						
		実績値						
		達成度(%)						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市営住宅長寿命化計画に基づき、市営住宅の建替え事業・景観改善等を継続していく必要がある。
見直し・改善内容	国からの補助金等を活用しながら、計画的に建替え・景観改善等を行っていく。